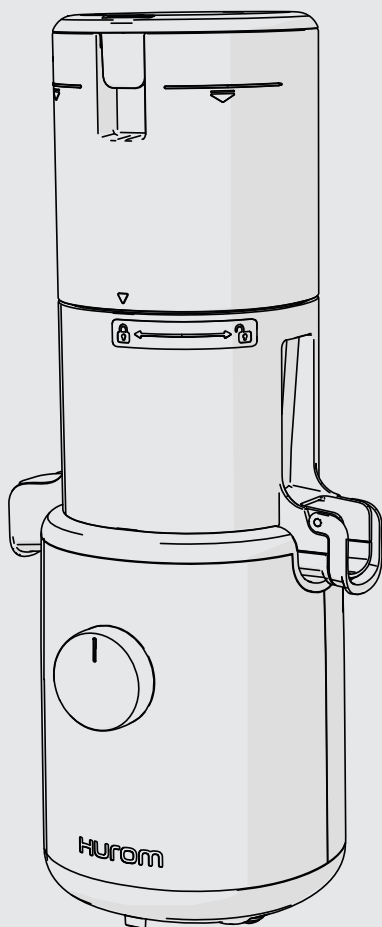


한국어

中文

English

日本語



Hurom™

目次

- P.32 1.安全にお使いいただくために
- P.33 2.使用上の注意事項
- P.34 3.電源ダイヤル
 - 4.搾汁する前の注意事項
- P.36 5.組み立て方法
- P.37 6.シリコン類の組み立てと分解方法
- P.38 7.使用方法
- P.39 8.使用中にスクリューが止まったら
- P.40 9.分解方法・洗浄方法
- P.41 10.故障かなと思ったら

ご使用前に必ずお読みください。

- 01 安全にお使いいただくため、P32～33の注意事項を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- 02 この取扱説明書と保証書(別紙)はいつでもお手に取れる場所に保管をお願いいたします。
- 03 この製品は日本国内用です。海外ではご使用いただけません。
- 04 この製品の仕様や外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



1.安全にお使いいただくために

- 01 ご使用前に本章を必ずお読みの上、お使いください。
- 02 人体への危害、財産への損害を防ぐためにお守りいただくことを説明しています。
- 03 誤使用による危険とその程度を、次の区分で説明しています。



警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や深刻なけがに結びつく可能性があります。

- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。
- 保証書や製品に表記されている交流以外の電源で使用しないでください。感電したり、火災や性能が低下する原因になります。電圧が異なる場合、モーターの寿命が短縮されたり、故障の原因となる可能性があります。
- 電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。

● 電源コードをお取り扱いの際は、次の点にご注意ください。無理に曲げたり束ねたりしない、傷をつけない、引っ張らない、高温の近く、またはガスレンジなどの火気の近くに置かない、重いものを載せない、狭い場所に通して挟んだり、加工したりしない。

● 絶対に改造をしないでください。また、ご自身で分解や修理をしないでください。

● 本体の隙間や穴に、指やピンなどの異物を差し込まないでください。火災、感電、障害、故障の原因となります。製品アフターサービスおよび点検については、弊社のカスタマーセンターまでお問い合わせください。

● 電源コードが破損したときは、修理や分解を試みないでください。カスタマーセンターおよび代理店までお問い合わせください。

● 本体を濡らしたり、水をかけたりしないでください。電源スイッチに水や異物が入らないようにしてください。

● 濡れた手で電源ダイヤルに触らないでください。

● 安全のため、必ず正しいコンセントに差し込んでください。電話線などに差し込まないでください。火災や感電、けがの原因となります。

● 作動中にドラムセットの部品を分解したり、投入口またはジュース排出口に指やスプーンなどを入れないでください。

● 子供の手の届くところで使用しないでください。子供が使ったり遊んだりしないように目を離さないでください。子供がぶつかったり倒れたりすると、けがや破損のおそれがあります。

● 本製品の取扱いに慣れていない方だけで使用しないでください。安全に責任を負う人の監督または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)は使用しないでください。事故やけがの原因になります。

● 磁力のあるもの(例:磁気プレスレットなど)を身につけたまま製品を使用しないでください。磁力のあるものを製品の近くに放置すると、誤作動する恐れがあります。



注意 誤った取り扱いをしたときに、けがまたは家屋・家財などの損害に結びつく可能性があります。

● 本体セットやドラムセットが正しく装着されていない状態で作動しないでください。

● 室内でガス漏れなどが発生した場合は、電源コードを操作せずに換気を行ってください。

● 作動中にスクリューが回転しなくなった場合は、ダイヤルを[REV]方向に3～5秒回して逆回転させます。その後、ダイヤルを[ON]方向に回します。作動中に停止したままの状態では放置すると、モーターの過熱による故障や機能低下の原因になります。問題が解決しない場合は製品を停止させ、カス

タマーセンターまでお問合せください。

● **作動中に本体を移動させたり、ドラムセットや部品を着脱しないでください。**必ず本体を停止させ、電源コードを抜いてから行ってください。

● **本製品は、平らで安定した場所に置いた状態でご使用ください。**

● **15分以上連続して使用しないでください。**モーターが加熱して故障する原因になります。

連続して使用する場合は、完全に運転を停止し、5分以上休ませてから、再度使用してください。

● **強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。**

● **異常故障時には直ちに使用を中止し、カスタマーセンターまでご連絡ください。**

新しい製品を使用する際に感じられるニオイは時間の経過とともに自然になくなります。

● **使用時以外は、電源コードを抜いてください。**電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

● **80℃以上の高温では洗浄しないでください。**電子レンジや食器洗い乾燥機などに入れないでください。故障や部品が変形する原因になります。

● **本製品の重量は約3.4 kgです。**

移動の際には、本体を両手でしっかりと持ってください。ドラムや本体の側面などを持って移動しようとすると本体が落下し、傷害や故障の原因となります。

● **本器具は家庭用です。業務用として使用しないでください。**

一度に大量のジュースを抽出しようとししないでください。部品が破損するおそれがあります。業務用として使用する場合は、カスタマーセンターにご相談ください。



2.使用上の注意事項

● **食材を投入する前に、本章を必ずお読みの上、食材の準備をしてください。**

-食材の準備が正しくないと、搾汁がうまく出来なかったり、製品破損の原因となります。

● **搾汁する上で注意が必要な食材**

-バナナ、キウイ、トマトなどのやわらかい食材を単体で使用する場合、ドラム内に食材が溜まり、円滑な搾汁ができないことがあります。

他のかための食材を追加してください。

-クルミ、ピーナッツ、アーモンド、豆類などは少量を他の食材と投入するか、または水にふやかしてから他の食材と一緒に搾汁してください。

-セロリや水菜など、茎が細長い材料を使用する場合、円滑な搾汁ができないことがあります。材料を3cm程度の長さに切ってから入れてください。

● **搾汁の出来ない食材**

-ゴマ・樹皮・山椒・穀物など、水分含有量が少ない食材

-サトウキビ・ゆでた芋類・豆類など

-生の魚介類・肉類・塩辛など

-酒、蜂蜜、砂糖漬けなどの果物

-氷

-穀物の製粉に使用しないでください。

● **搾汁したジュースは長期保存せず、なるべく早めにお召し上がりください。**

● **穀物の粉碎に使用しないでください。**

故障や破損の原因になります。

● **一度搾汁した搾りかすは再搾汁しないでください。**

● **ホッパーの食材投入上限マークを超えて食材を入れないでください。**

● **15分以上連続して使用しないでください。**

-モーターが加熱して故障する原因になります。連続して使用する場合は、運転を一度停止し、5分以上休ませてください。

● **作動中にはジュース排出口や搾りかす排出口に指や箸、スプーンなどを入れないでください。**

● **濡れた手で電源ダイヤルに触らないでください。**

-感電・漏電・火災の原因となります。

● **ジュースキャップを開けた状態で使用してください。**

-ジュースキャップを閉じたまま搾汁すると、ホッパーにジュースが逆流することがあります。

● **本体の上部に搾汁したジュースや水などが溜まっている状態で使用しないでください。**

● **本製品は、家庭用および類似する以下の環境での使用を目的としています。**

-店舗、オフィスまたはその他労働環境下のスタッフ用のキッチンで使用される場合。

-農家

-ホテル、モーターまたはその他居住タイプの環境下で客によって使用される用途の場合。

-朝食付き簡易宿泊施設の場合。

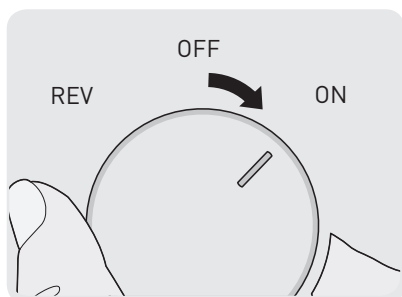
※但し、定格時間(15分)を超えての使用、連続運転はしないでください。故障や破損の原因となります。

注意

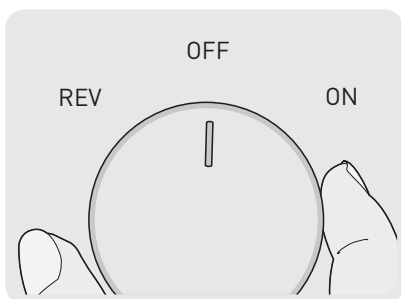
1. 冷蔵庫に長期間保存されている水分含有量の少ない食材や冷凍フルーツなどは搾汁量が少なかったり搾汁ができない場合があります。

2. 使用後すぐに洗浄しないと搾りかすが乾燥して部品に付着することで、分解と洗浄がしづらくなる他、性能低下の原因にもなりますので、使用後はなるべくすぐに洗浄してください。

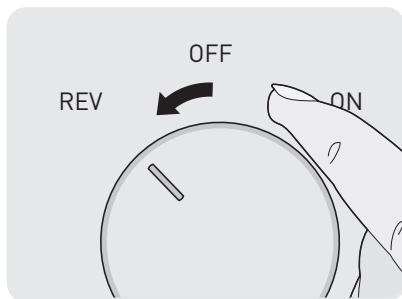
ダイヤルを左右に回して操作します。



[ON] : 運転 - ジューサーが作動し搾汁します。



[OFF] : 停止 - 作動が停止します。

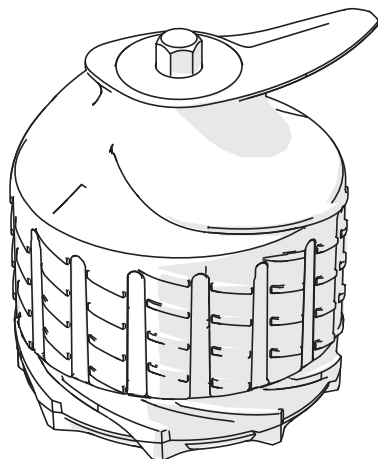


[REV] : 逆回転 - 材料を入れすぎて停止した場合に使用します
※ ダイヤルを回している間だけ作動し、ダイヤルを離すと停止します。

4.搾汁する前の注意事項

- ※ 食材によるアレルギー(フルーツや玉ねぎ等)がある場合は、体質に合った食材をお選びください。
- ※ 各食材に適した機器の使用法および参考事項は、レシピブックを参照してください。
- ※ ホッパーに入る程度の大きさに食材をお切りください。但し、ジュース2杯分搾汁するたびに、搾汁、分解、洗浄の手順を繰り返してください。
- ※ ホッパーの食材投入上限マークを超えないようにしてください。
- ※ やわらかい果物を搾汁する際にドラム内に食材がたまる場合があります。
- ※ 繊維質が多い食材などを搾汁した場合、とろみのあるジュースになります。
- ※ 搾汁できない食材、以下の食材を投入した場合、破損や故障の原因となることがあります。
 - ゴマ・樹皮・山椒・穀物など、水分含有量が少ない食材
 - サトウキビ・ゆでた芋類・豆類など
 - 生の魚介類・肉類・塩辛など
 - 酒、蜂蜜、砂糖漬けなどの果物
 - 氷
 - 穀物の製粉に使用しないでください。
- ※ <使用上の注意事項>をご覧ください。

4-1.マルチスクリュー



- 各食材ごとに注意が必要な材料などがありますので、下記をご参照ください。
- 複数の食材を使用する場合、食材を小さくカットするとホッパーにより多く入れることができます。

柑橘類

グレープフルーツ、オレンジ、レモンなど

皮をむき、果肉を適当な大きさにカットします。噛みきれないかたい種は取り除いてから投入してください。

皮が厚い果物類

パイナップル・メロン・スイカなど

皮をむき、果肉を適当な大きさにカットします。噛みきれないかたい種は取り除いてから投入してください。

種のある果物類

ブドウ・リンゴ・桃・柿・スモモ・チェリー・梨など

噛みきれないかたい種がある果物、桃などのように大きい種がある果物は必ず種を取り除いてから、果肉をカットしてください。かたい種は誤作動や部品破損などの原因となります。

リンゴの種はすりつぶすと毒性を発揮する可能性があるため、できるだけ取り除いてください。

ブドウ類は果軸から1つずつ取ってからきれいに洗ってください。(種や皮を取り除く必要はありません。)熟してやわらかくなった食材は単体で搾汁せずに、他の果菜類と一緒に搾汁してください。

やわらかく果肉の多い果物類

リンゴ・梨・スイカ・ベリー類・ミニトマト・パイナップルなど

きれいに洗った後、適当な大きさにカットしてください。へたのある果菜類はへたを取り除いてください。

イチゴ・キウイ・バナナ・トマト・マンゴーなど

水分含有量が少なく粘性のある食材は、単体で搾汁せず、他の食材と一緒に搾汁してください。皮とへたを取り除き、種のある食材は種を取り除いてください。

根菜類

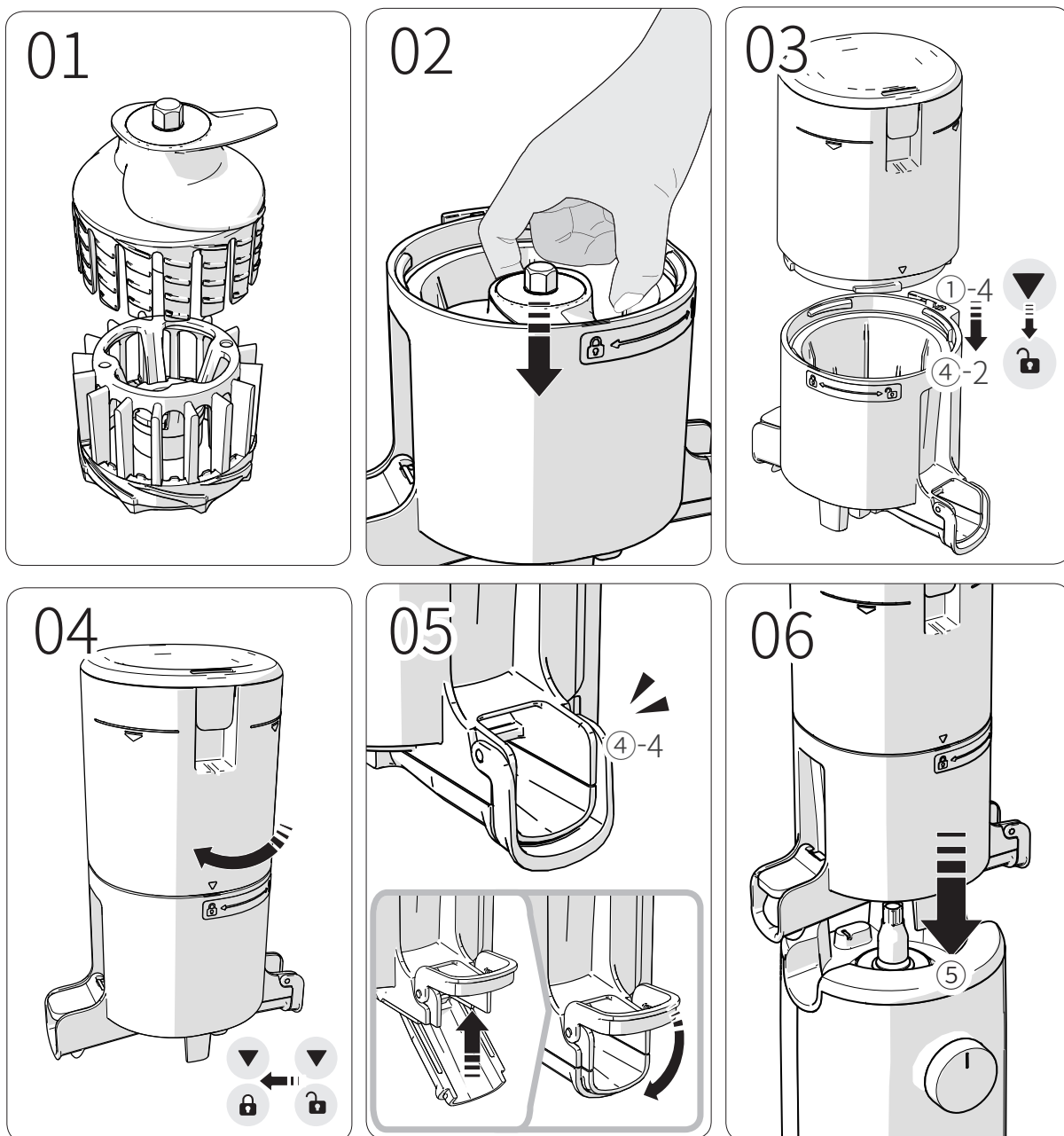
ニンジン・ビーツ・ショウガ・サツマイモ・レンコン・ゴボウなど

材料をきれいに洗い流し、土、異物をしっかりと取り除きます。生姜などの繊維質が多い食材は皮をむいてからカットしてください。他の長い食材は適当な大きさにカットして搾汁してください。

葉物類・茎野菜

セロリ・小松菜・ハウレン草・ケール・キャベツなど

3cm程度の長さにカットして搾汁してください。葉物類や茎野菜に含まれる繊維はかたく長いため、うまく搾れなかったりスクリューに絡むことがあります。



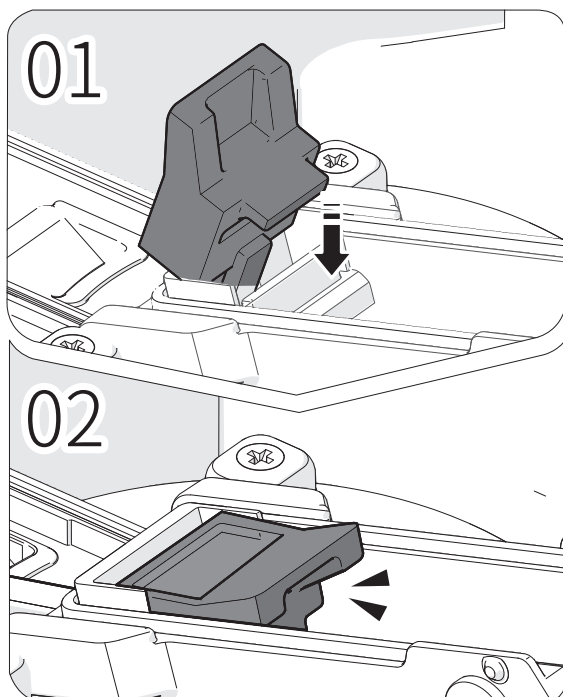
- 01 マルチスクリュー（下）と（上）を図のように組み立てます。
- 02 組み立てたマルチスクリューをドラムに図のように取り付けます。
- 03 ホッパーの[▼]組立表示点(①-4)とドラムの[🔒]組立表示点(④-2)の位置を合わせて取り付けます。
- 04 ホッパーをドラムの組立表示点[🔒]まで時計方向に回してください。
ドラム内部の部品を正しく組み立てていないとホッパーが閉じません。
- 05 搾りかす排出口カバーがフック(④-4)で正しく固定されているか確認してください。
1. 搾りかす排出口カバーを上を持ち上げるように閉じて、フックで固定します。
2. パッキンを正しく取り付けしていない場合や排出口がきちんと閉じられていない場合は、搾汁の途中でレバーが開いたり、ジュースが漏れることがあります。
- 06 正しく組み立てたドラムセットを本体(⑤)に取り付けます。
ドラムセットを組み立ててから本体に取り付けてください。

6.シリコン類の組み立てと分解方法

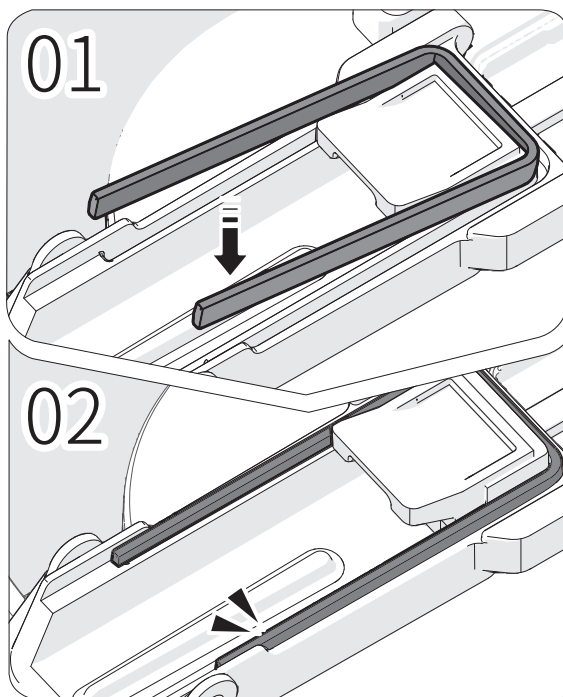
※パッキン類は消耗品のため、6ヶ月から1年単位で交換することをおすすめします。パッキンの購入時は、カスタマーセンターまでお問い合わせください。

※正しく組み立てていないとジュース漏れの原因となります。

搾汁パッキン

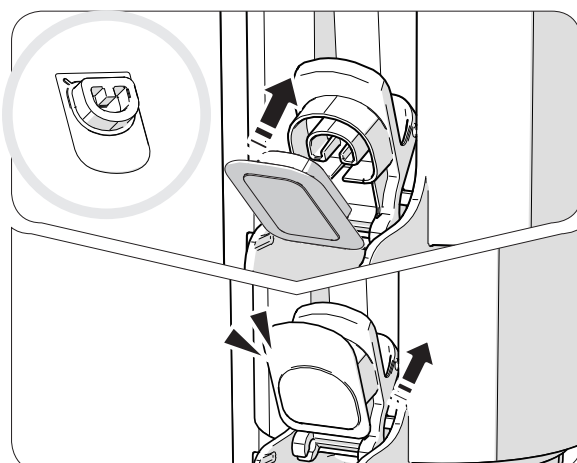


レバーパッキン



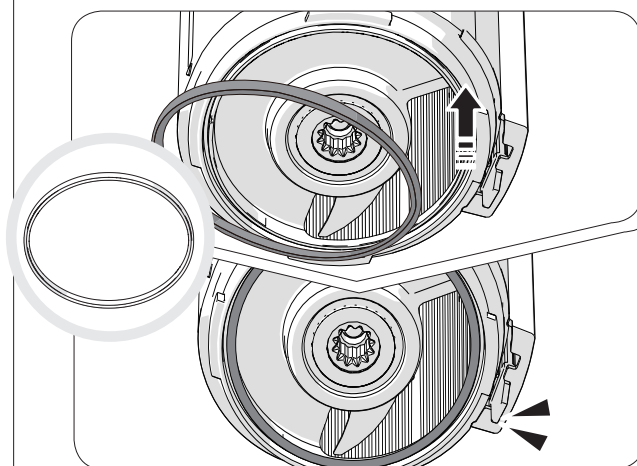
- 01 パッキンをひねりながら取り外してください。
- 02 洗浄したパッキンの一部を、かけるように押し込みます。残りの部分を差し込んで、しっかりと押し込みます。

ジュースキャップパッキン



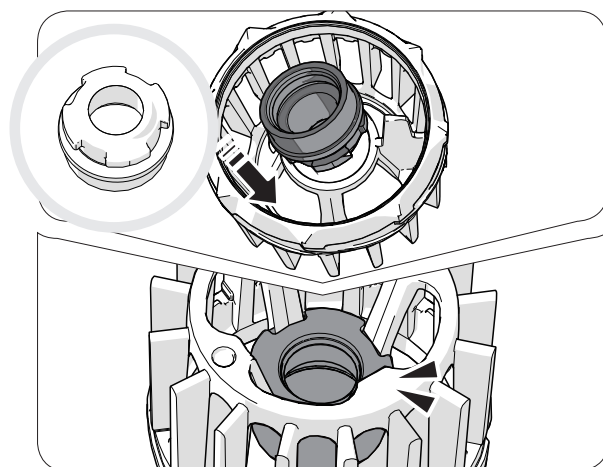
洗浄後、パッキンの丸い部分が外側を向くようにしてからパッキンの上下を確認し、しっかり穴に差し込みます。

ホッパーパッキン

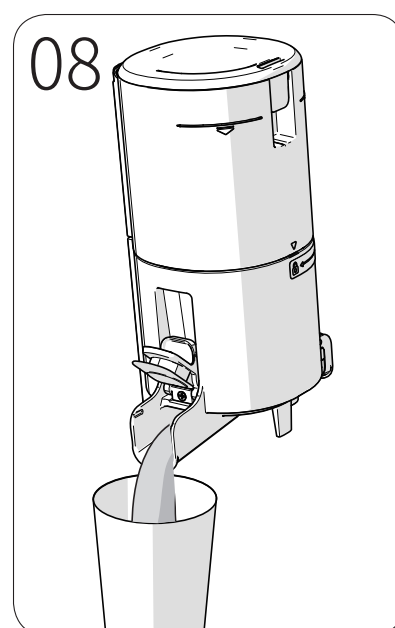
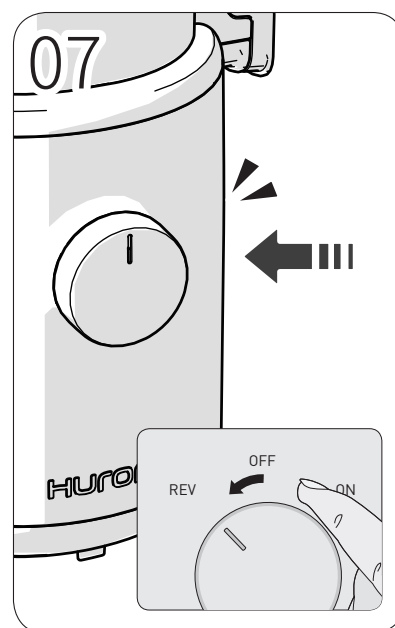
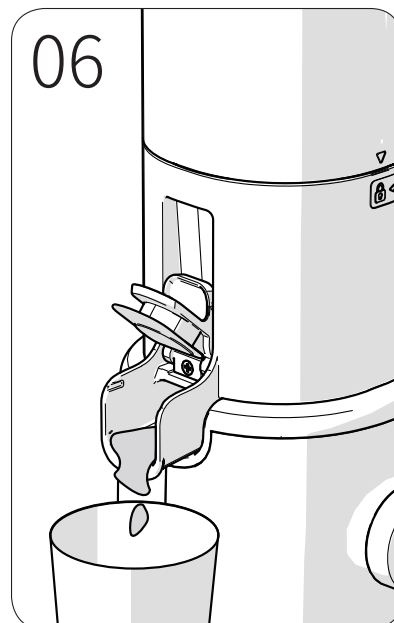
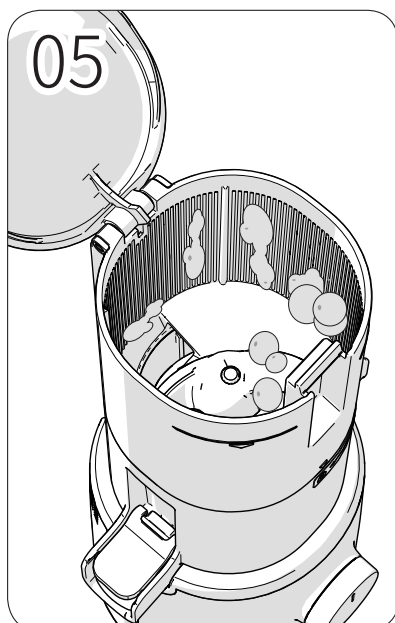
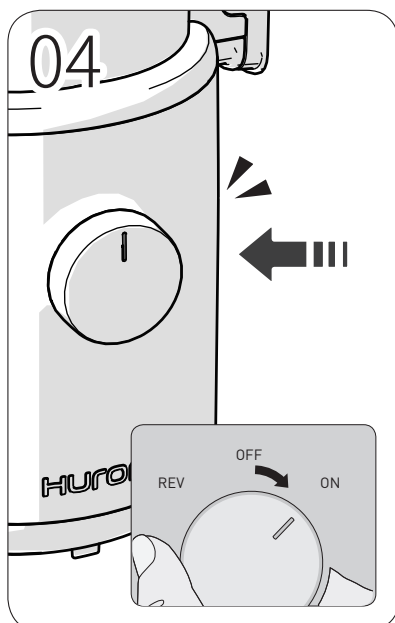
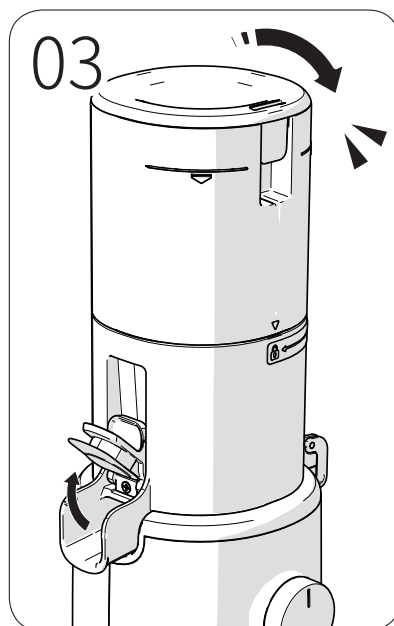
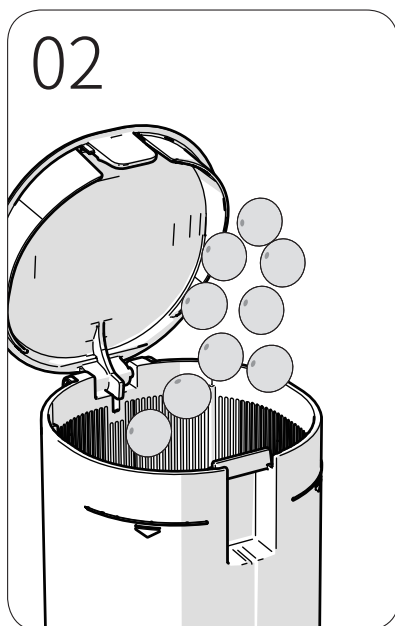
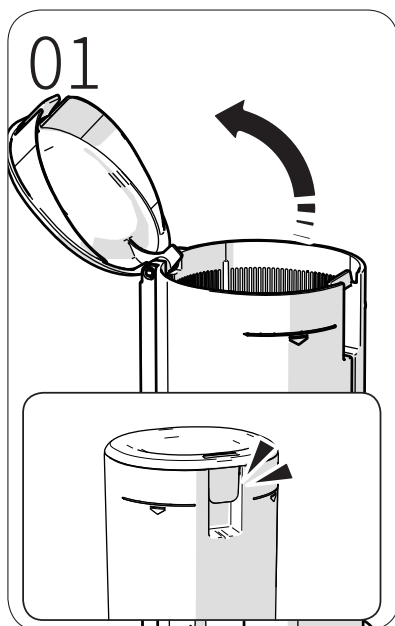


図のようにパッキンを取り付けます。

スクリューパッキン



- 01 分解時はパッキンの一部をひねりながら、下に押し出すように取り外してください。
- 02 洗浄後、パッキンの上下を確認しマルチスクルー(下)の下からパッキンの山型を押し上げて溝にはめてください。
- 03 パッキンの残りの部分を折れ曲がらないように押し込みます。



注意

ジュースカップは付属しておりません。

01 ホッパーキャップを開けてください。

02 ホッパーの食材投入上限マークを超えないように食材を入れてください。

- ① 食材を入れすぎると食材詰まりによる部品の損傷、破損の原因になります。
- ② 熟してやわらかくなった食材は水分の多い食材と一緒に搾汁してください。

03 ホッパーキャップを閉じ、ジュースキャップを開けてください。

- ① 電源ダイヤルを[ON]にする前に、搾りかすカップをセットしてください。
- ② ジュースキャップを閉じたまま搾汁するとホッパーにジュースが逆流することがあります。ジュースキャップを開けてもジュースが流れない場合は、ホッパーキャップを開けて中身を取り除いてください。

04 電源ダイヤルを [ON] に回して作動してください。

- ① 始動時に「カチッ」と音がしますが、ドラムセットとモーターが接合する音ですので、問題ありません。
- ※ ホッパーキャップが開いていると運転が停止します。

05 ジュースを搾るときに、ホッパーの内側やカッターの刃に材料が付着することがあります。

- ① スクリューが回転しなくなった場合は、ダイヤル[REV] 方向に3～5秒回して逆回転させます。再度ダイヤルを[ON] 方向に回します。
- ※ 食材がドラムに落ちていかない場合は、ホッパーキャップを開けて食材を詰めなおしてください。

06 最後の食材を投入した後、約1分ほど作動してください。

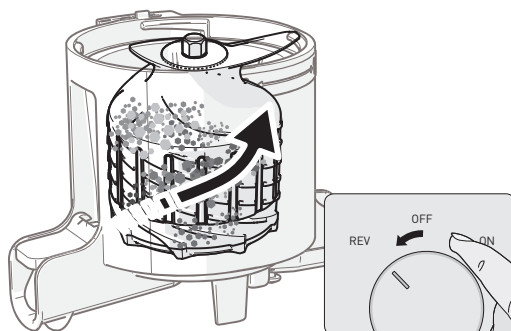
- ① 食材はゆっくり圧縮されるため、最後の食材が搾汁されるまで少し時間がかかります。
- ② 搾汁後もしばらく作動させ、搾りかすを排出すると、ホッパーの分解と洗浄がしやすくなります。

07 食材の搾汁と搾りかすの排出が終わったら、電源ダイヤルを回して運転を停止します。

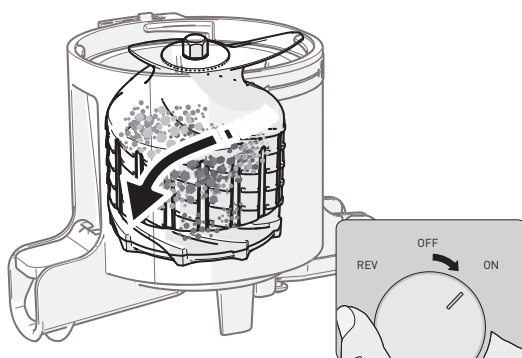
08 ドラム内にジュースが残っている場合は、ドラムセットを前に傾けて注いでください。

- ① トマトジュースなどのとろみのあるジュースは、ドラムセットにたまることがあります。

01



02

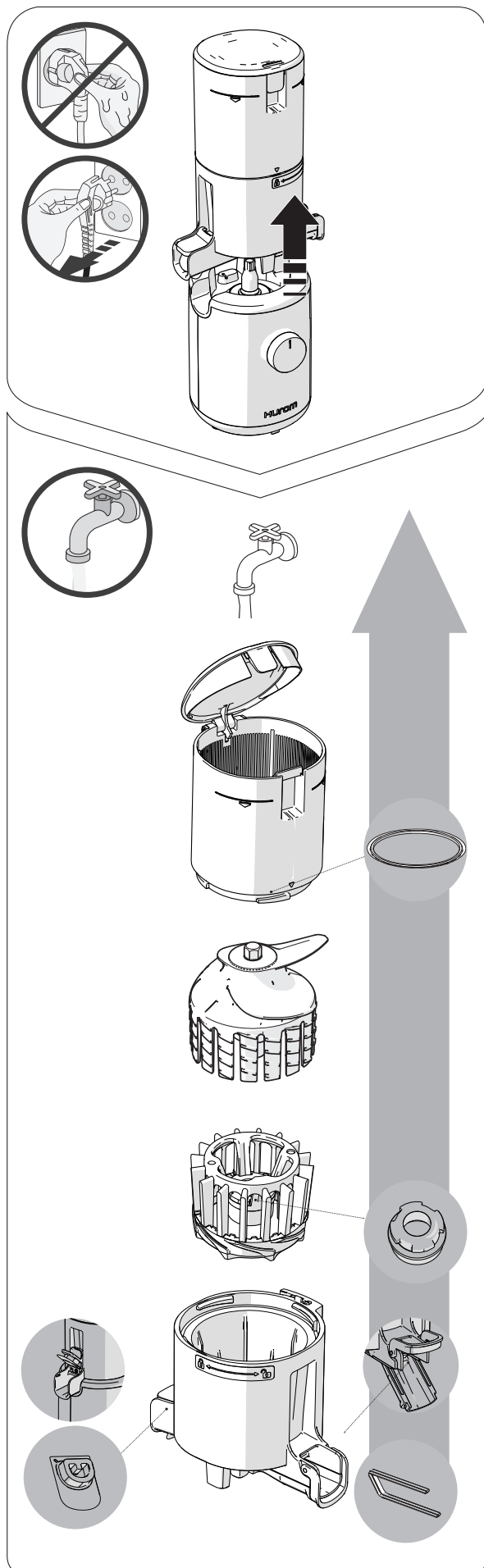


01 電源ダイヤルを [REV] 方向 (反時計回り) に回した状態を3～5秒維持してからダイヤルを離す操作を2、3回繰り返します。逆回転はドラム内の食材を上押し上げる機能です。逆回転はダイヤルを回しているときのみ動作し、ダイヤルを離すとスクリーウの回転が止まります。

02 逆回転後、スクリーウが完全に停止してから電源ダイヤルを [ON] 方向 (時計回り) に回すと再び作動させます。

注意

上記の方法を行っても作動しない場合は、電源プラグを抜き、ドラムセット等の分解と洗浄を行った後に、再度作動させてください。モーターの特性により、停止させてもしばらくは作動中の方向に回転します。



※ スイッチを切ると、モーターはゆっくり止まります。作動が完全に停止してから3秒後に乾いた手で電源コードを抜き、ドラムセットを取り外すようにしてください。

- 01 ドラムセットを本体から取り外します。ホッパーを回して外した後、部品を順番に取り出します。
- 02 掃除ブラシを使用し、水を流しながら部品を洗浄します。
- 03 搾りかす排出口カバーとジュースキャップを開けてドラムを洗浄します。
- 04 本体は水気をしっかり切ったタオルや柔らかい布で拭いてください。
- 05 パッキン類は使用後取り外し、洗浄してください。
-パッキン類に搾りかすが付着することがあります。
(ホッパーパッキン、ジュースキャップパッキン、搾汁パッキン、レバーパッキン、スクリューパッキン)
- 06 重曹または食器用漂白剤を薄めた水に1時間程つけ置きすることで、殺菌洗浄ができます。

※使用後は必ず製品を洗浄し、完全に乾くまで自然乾燥させてから、清潔な場所に保管してください。使用後すぐに洗浄しないと、食材からの塩分や搾りかすにより、ステンレススチール製の部品が、腐食および変色することがあります。また、搾りかすなどが乾燥して付着し、分解と洗浄をしにくくなり、性能低下の原因になります。

※80℃以上の高温で洗浄しないでください。電子レンジや食器洗い乾燥機などには入れないください。

※鉄たわし、研磨剤、有機溶剤等は使用しないでください。

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。
これらの状態は故障ではありません。修理または部品に関するお問い合わせは、
弊社フリーダイヤルもしくは弊社ホームページ (<https://huromjapan.com/>) よりお申込みく
ださい。なお、修理等や部品をお申込みされる際には、事前にモデル名やシリアルナンバーを
ご確認ください。

01.運転開始時に「カチッ」という音がする。

モーターとスクリューが噛み合う音です。故障ではありません。

02.本体だけでは作動しません。

ドラムセットと本体が正しく組み立てられているかをご確認ください。

組み立てる時や分解する時は、必ず電源を切ってください。

03.組立表示点に合わせて組み立ててください。

組立表示点に合わせて組み立ててください。

組み立てる時や分解する時は、必ず電源を切ってください。

04.作動しない。

電源プラグがきちんと差し込まれているかご確認ください。

長時間(15分以上)搾汁すると作動しなくなることがあります。

本体(モーター)の熱が冷めることで、正常動作が可能となります。

ホッパーが正しく装着されているかご確認ください。ホッパーの装着が正しくないと作動しません。

ホッパーの組立表示点とドラムの組立表示点が合っていないと作動しません。「組み立て方法(36P)」を参照してください。

05.製品が作動中に急に停止する。

ホッパーに食材を入れすぎたり、太い材料を投入していないかご確認ください。本取扱説明書の(39P)を参照の上、逆回転を行ってください。

06.スクリューに割れたような跡や傷のような跡がある。

成形の過程でスクリューの側面と上部に直線の成形跡以外に曲線の跡が残ります。正使用上問題はありませのでご安心ください。

07.材料投入直後に、搾りかす排出口からジュースが漏れる。

投入する材料によって、搾りかす排出口からジュースが少し漏れることがあります。

製品の異常ではなく、材料の特性による現象であり、しばらく作動することで、ジュースの漏れは止まります。ジュースの漏れが止まらない場合は、カスタマーセンターまでご連絡ください。

08.ジュースがホッパーに逆流する。

ジュースキャップを閉じた状態で搾汁していないかご確認ください。

ジュースキャップを閉じた状態で搾汁すると、ホッパーにジュースが逆流することがあります。ジュースキャップを開けても排出がうまくできない場合は、ホッパーキャップを開けて中身を取り出してください。

09.ホッパーとドラムの隙間やドラムと本体の隙間からジュースが漏れる。

ホッパーパッキンやドラムパッキンが正しく装着されているかご確認ください。

パッキンが上下逆に装着されていたり、完全に装着されていないとジュースが漏れます。パッキン類の装着状態を確認する必要があります。

10.ホッパーが開かない。

ドラム内に搾りかすがたくさん残っている可能性があります。電源ダイヤルを[ON]にし、ドラム内に溜まっている搾りかすを排出するか、もしくは逆回転を約10秒間作動させてから止める作業を2〜3回繰り返してください。

異物、固形物(かたい種など)を投入していないかご確認ください。

異物や固形物を投入した場合、逆回転を行うと破損の恐れがありますので、カスタマーセンターまでご連絡ください。

11.搾汁時にドラムが揺れる。

本体のモーターの動きで多少揺れることがあります。食材の特性(かたさ・繊維の種類)によって揺れが起こる場合があります。これはスクリューの回転による正常な現象で、故障ではありません。水分が多くやわらかい食材に比べ、かたい食材は揺れが大きい場合があります。(例:ニンジン・ジャガイモ・大根・ビーツなど)

12.搾りかす排出口を閉めていても搾りかすは排出される。

排出口を閉めても搾りかすは自然に排出されます。使用する食材によって搾りかすの排出量と排出速度に差が生じる場合があります。

13.搾汁中に異音が聞こえる。

食材が搾汁されるときに聞こえる自然な音です。リンゴ・ニンジン・キャベツ・セロリ・ビーツなどのように食材がかたい場合は、やわらかい食材に比べ、搾汁中の音が大きいことがあります。

HUrom™

MADE IN KOREA | www.globalhurom.com

Copyright© All Rights Reserved by HURUM

4DC010892_V.02